

月間騰落レポート:豪州の追加緩和期待は一服?

はじめに

為替相場の分析をする際、それぞれの通貨ペアごとに見ていくのが一般的だが、多くの通貨ペアの騰落率を並べていくと、一定の傾向が見えてくることもある。右図は各通貨ペアの当該月終値とその前月の終値から単純に比較し、一覧化したものである。赤く塗りつぶされている欄は「買いで持ち続けていれば利益が出たもの」、青く塗りつぶされているものは「売りで持ち続けていれば利益が出たもの」となる。この表からその月の通貨の動きの特徴を読み解き、その背景に何が合ったか分析することで、今後の相場を見ていく上でのポイントを確認していきたい。

7月の為替相場の動きの傾向

2013年7月の為替相場は、騰落率から見ると買っぱなしで最も利益が出たのは「ユーロ/豪ドル(+4.0%)」だった。また、売りっぱなしで最も

図2:7月の通貨強弱ランキング

1	NZドル
2	カナダドル
3	ユーロ
4	スイスフラン
5	日本円
6	南アランド
7	米ドル
8	ポンド
9	豪ドル

※外為どっとコム総研作成

利益が出たのは「豪ドル/円(-3.0%)」となった。豪ドル/米ドルにしても「売りっぱなし」で利益が出ており、7月は「豪ドル売り」が最も適切だったと考えられる。ただ、通常、豪ドルが大きく動いた場合、同じオセアニア通貨のNZドルも同様の方向に動く傾向があるものの、この月の

図1:直近2カ月の各通貨ペアの騰落率

※Bloombergより前月終値と当月終値から算出

	2013年7月	2013年6月
1	ユーロ/豪ドル 4.0%	ドル/ルピー 5.1%
2	NZドル/米ドル 3.2%	ユーロ/豪ドル 4.8%
3	ユーロ/ポンド 2.3%	ドル/リアル 4.2%
4	ユーロ/ドル 2.2%	ドル/カナダ 1.4%
5	ドル/リアル 2.0%	ランド/円 0.6%
6	NZドル/円 1.9%	ポンド/ドル 0.1%
	---	ユーロ/ドル 0.1%
7	ドル/ルピー 1.7%	ドル/人民元 0.0%
		ユーロ/ポンド 0.0%
8	カナダ/円 1.0%	スイス/円 -0.3%
	ユーロ/円 1.0%	---
9	スイス/円 0.7%	ユーロ/スイス -1.0%
10	ユーロ/スイス 0.2%	ドル/スイス -1.1%
11	ドル/ランド 0.0%	ポンド/円 -1.2%
	ポンド/ドル 0.0%	---
12	ドル/人民元 -0.1%	ユーロ/円 -1.3%
	---	ドル/円 -1.3%
13	ランド/円 -1.1%	ドル/ランド -2.1%
14	ドル/円 -1.3%	NZドル/米ドル -2.6%
	ポンド/円 -1.3%	---
17	豪ドル/米ドル -1.7%	カナダ/円 -2.7%
18	ドル/スイス -2.0%	NZドル/円 -3.9%
19	ドル/カナダ -2.3%	豪ドル/米ドル -4.5%
20	豪ドル/円 -3.0%	豪ドル/円 -5.8%

※赤=「買い」で利益が出たもの 青=「売り」で利益が出たもの

場合、豪ドルが大きく売られた一方でNZドルは最も買われた通貨となった。(図2参照)

こうした乖離はどのような背景があって発生したのか。背景を検証し、今後の相場について考えてみたい。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

豪ドル

豪ドルは7月、先進国通貨は元より、他の資源国や新興国の通貨に対しても売られるなど、大きく値を下げた。ただし、チャートを見ると、豪ドルが本格的に売られ始めたのは下旬からで、それまではさほど大きな方向感が出ていなかったことが分かる。(図3参照)

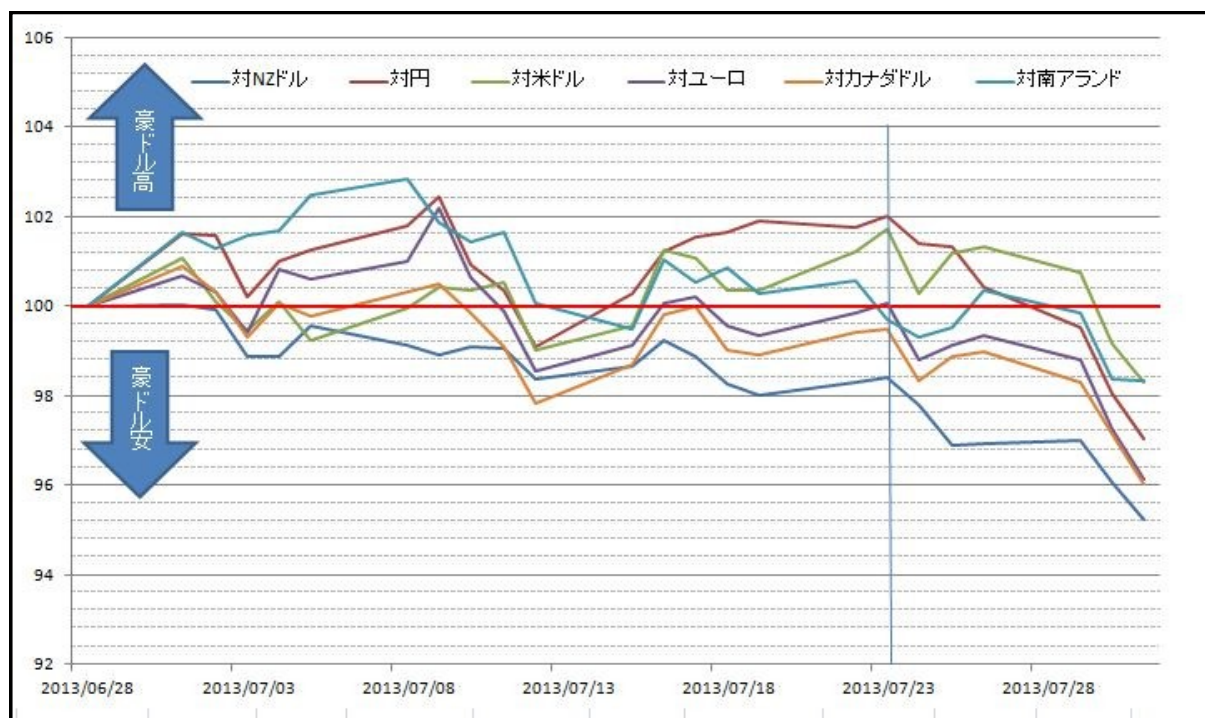
では下旬からは何が起こったのか。

豪ドルのチャートを見ると、下落の起点は7月24日だったことが分かる。この日、豪州で発表された4-6月期消費者物価が前年比+2.4%と市場予想(+2.5%)を下回った。基調インフレ率が+2.4%と市場予想(+2.25%)を上回ったことで一旦豪ドルは買い戻されたが、その後著名な豪中銀(RBA)ウォッチャーが次回RBA理事会での利下げの可能性

に言及したことが報じられると、豪ドル売りが強まった。さらに30日にスティーブンスRBA総裁が「4-6月期消費者物価はRBAに利下げ余地があることを示唆」と述べたことでRBAの8月利下げ観測に拍車がかかり、豪ドルは大きく値を下げる結果となった。

一方、NZドルについては、NZ中銀(RBNZ)が7月25日に声明で「将来は刺激策の解除が必要となる可能性はあるが、現在の金利水準が年末まで維持されると見込まれる」とするなど、前回声明では無かった「将来の刺激策解除の必要性」についての言及があった点が7月のNZドルを押し上げる要因となった。こうした両国の金融政策についてのスタンスの乖離が7月の為替レ-

図3：7月の各通貨に対する豪ドルの推移



※外為どっとコム総研作成 ※縦の青線は7/24

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2013 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

トの方向感の違いを生み出したと考えられる。

ただしこの傾向も、8月6日のRBA理事会で利下げが実行されたことによって、目先は一服してしまう可能性が残る。6日、RBAはキャシュターゲットを大方の予想通り0.25%引き下げ、2.50%にすると決定した。発表直後、まず豪ドルは「噂で売って、事実で買う」とばかりに反発した。ポイントは声明の内容になる。RBAはこの声明で、「豪ドルは4月初めから15%程度下がったが、依然として高い水準にある」とはしたものの、「為替レートは時間と共に一段と下落する可能性」とするなど、豪ドル安見通しを示した。また、今後の金融政策については「引き続き見通しを評価し、必要に応じて政策を調整する」と、前回声明の「需要に必要なインフレ見通しがさらなる緩和の余地を与える可能性がある」という文言からすると、ハト派寄りだったスタンスが中立派に修正されたと見ることができる。一部では年内の追加利下げの可能性を視野に入れていた市場関係者もいたほど、RBAの緩和スタンスに対しては前のめり気味だった市場が、豪ドル買いを継続する形でこれを修正した。

当面、豪ドルに関してはイベント消化感が否めない。RBAのスタンスがハト派寄りから中立派になったからと言って、すぐに引き締め観測が出る状況ではなく、RBAからはむしろ「豪ドルは下落する」との見通しが示されている状況。さらに、中国の景気減速懸念が強いことも豪州経済には逆風だ。つまり、これまでほどの勢いで豪ドルを売る状況ではないものの、「豪ドルが買いにくい状況」とであるとみて良さそうだ。従って、豪ドルは次の

トピックスが浮上するまで様子見ムードが漂うものと見る。一方、NZドルについても次のオフィシャルキャシュレートの発表が9月12日と1カ月以上先になる。独自材料に欠ける状態で、豪ドルと乖離した動きを引き続き見せる可能性は低いと言えよう。ちょうど市場も夏季休暇のため参加者が少なくなる時期でもあり、相場全体としても積極的な取引が控えられやすいシーズンでもある。

では、当面の為替相場の中心テーマは何になるだろうか。

筆者としては、やはり「米量的緩和の縮小」が中心テーマになるものとみている。7月末の米連邦公開市場委員会（FOMC）および8月2日発表の米7月雇用統計の結果は9月FOMCでの緩和縮小スタート観測を示唆する結果にならず、足元の市場はこのテーマについて一旦休止モードに入っていると見受けられる。しかし、13日の米7月小売売上高の発表を皮切りに、同国の主要経済指標が毎日のように発表される上、21日には7月のFOMC議事録の発表も予定されている。さらに、その後も米国の住宅関連指標や景況感関連指標などが続いている。今後、夏季休暇から戻る市場参加者が徐々に増えていけば、これら指標結果や議事録の内容を手掛かりに再度「9月の量的緩和縮小スタート」の可能性を考慮しながら取引するムードが広がっていこう。つまり、米ドルが主役の相場が再び戻ってくるものとする。通貨ペアとしては、ドル/円やストレートドルなど、

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2013 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com

米ドルを直接取引の方が分かりやすい展開が続く公算だ。クロス円やユーロクロスなどは値動きが変則的になりやすくなっていくものと考えられる。

以上

毎月の騰落率一覧

※Bloombergより前月終値と当月終値から算出

	2013年7月	2013年6月	2013年5月	2013年4月	2013年3月	2013年2月	2013年1月	2012年12月	2012年11月	2012年10月	2012年9月	2012年8月	2012年7月
ドル/円	-1.3%	-1.3%	3.1%	3.4%	1.8%	0.9%	5.7%	5.2%	3.4%	2.3%	-0.5%	0.3%	-2.1%
ユーロ/ドル	2.2%	0.1%	-1.3%	2.7%	-1.8%	-3.8%	2.9%	1.6%	0.2%	0.8%	2.2%	2.2%	-2.9%
ユーロ/円	1.0%	-1.3%	1.8%	6.3%	-0.1%	-3.0%	8.8%	6.9%	3.6%	3.2%	1.7%	2.5%	-4.9%
ポンド/ドル	0.0%	0.1%	-2.2%	2.2%	0.2%	-4.4%	-2.4%	1.5%	-0.7%	-0.2%	1.9%	1.2%	-0.2%
ポンド/円	-1.3%	-1.2%	0.9%	5.7%	2.0%	-3.5%	3.2%	6.7%	2.6%	2.1%	1.3%	1.5%	-2.3%
豪ドル/米ドル	-1.7%	-4.5%	-7.7%	-0.5%	2.0%	-2.0%	0.3%	-0.3%	0.5%	0.0%	0.5%	-1.7%	2.6%
豪ドル/円	-3.0%	-5.8%	-4.8%	2.9%	3.8%	-1.1%	6.1%	4.8%	3.9%	2.3%	0.0%	-1.4%	0.4%
NZドル/米ドル	3.2%	-2.6%	-7.2%	2.3%	1.5%	-1.7%	1.2%	1.0%	-0.3%	-0.9%	3.3%	-0.7%	0.9%
NZドル/円	1.9%	-3.9%	-4.2%	5.7%	3.3%	-0.8%	7.0%	6.2%	3.1%	1.4%	2.8%	-0.3%	-1.2%
ドル/スイス	-2.0%	-1.1%	2.8%	-2.1%	1.3%	2.9%	-0.6%	-1.4%	-0.4%	-0.9%	-1.6%	-2.2%	2.9%
スイス/円	0.7%	-0.3%	0.4%	5.6%	0.4%	-2.0%	6.3%	6.6%	3.8%	3.2%	1.1%	2.6%	-4.9%
ドル/カナダ	-2.3%	1.4%	3.0%	-1.0%	-1.3%	3.3%	0.5%	-0.2%	-0.5%	1.6%	-0.3%	-1.7%	-1.3%
カナダ/円	1.0%	-2.7%	0.1%	4.5%	3.1%	-2.4%	5.2%	5.4%	3.9%	0.7%	-0.3%	2.0%	-0.8%
ドル/ランド	0.0%	-2.1%	12.5%	-2.9%	2.3%	0.8%	5.7%	-4.9%	2.7%	4.3%	-1.0%	1.7%	1.2%
ランド/円	-1.1%	0.6%	-8.2%	6.4%	-0.5%	0.1%	-0.1%	10.8%	0.7%	-1.9%	0.4%	-1.3%	-3.2%
ユーロ/ポンド	2.3%	0.0%	0.9%	0.5%	-2.0%	0.6%	5.5%	0.1%	0.9%	1.0%	0.3%	1.1%	-2.7%
ユーロ/スイス	0.2%	-1.0%	1.4%	0.6%	-0.5%	-1.0%	2.3%	0.2%	-0.2%	-0.1%	0.6%	0.0%	0.0%
ユーロ/豪ドル	4.0%	4.8%	7.0%	3.2%	-3.7%	-1.9%	2.6%	1.9%	-0.3%	0.8%	1.7%	4.0%	-5.3%
ドル/リアル	2.0%	4.2%	7.0%	-1.0%	2.2%	-0.7%	-2.9%	-4.0%	5.2%	0.2%	-0.2%	-1.3%	2.4%
ドル/人民元	-0.1%	0.0%	-0.5%	-0.7%	-0.2%	0.0%	-0.2%	0.1%	-0.2%	-0.8%	-1.0%	-0.2%	0.1%
ドル/ルピー	1.7%	5.1%	5.0%	-0.9%	-0.1%	2.1%	-3.2%	1.3%	0.8%	1.8%	-4.8%	-0.2%	0.0%
NYダウ	4.0%	-1.4%	1.9%	1.8%	3.7%	1.4%	5.8%	0.6%	-0.5%	-2.5%	2.6%	0.6%	1.0%
DAX	4.0%	-4.7%	5.5%	1.5%	0.7%	-0.4%	2.1%	2.8%	2.0%	0.6%	3.5%	2.9%	5.5%
日経平均	-0.1%	-0.7%	-0.6%	11.8%	7.3%	3.8%	7.2%	10.0%	5.8%	0.7%	0.3%	1.7%	-3.5%
NY金	7.3%	-12.2%	-5.4%	-7.7%	1.1%	-5.0%	-0.8%	-2.2%	-0.4%	-3.1%	5.1%	4.5%	0.6%
NY原油	8.8%	5.0%	-1.6%	-3.9%	5.6%	-5.6%	6.2%	3.3%	3.1%	-6.5%	-4.4%	9.6%	3.6%
米10年債利回り	3.6%	16.8%	27.3%	-9.6%	-1.4%	-5.5%	12.9%	8.8%	-4.4%	3.5%	5.5%	5.5%	-10.8%
独10年債利回り	-3.4%	14.8%	23.8%	-5.7%	-11.3%	-13.5%	27.7%	-5.1%	-5.2%	1.4%	8.1%	3.8%	-18.8%
日10年債利回り	-6.0%	-0.5%	40.7%	10.5%	-16.9%	-12.1%	-4.7%	10.5%	-7.6%	-0.4%	-2.4%	0.4%	-5.1%

※赤＝前月終値比で「+」 青＝前月終値比で「-」

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総研研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2013 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com